

課題の2	ネギ苗の亜リン酸肥料施用調査（新規）
------	--------------------

ネギの栽培において、定植前の苗の根に亜リン酸肥料を吸収させることにより初期生育を促進する効果が報告されている。

初期生育が良くなることは健全な生育や収量の向上につながることから、亜リン酸肥料を施用した定植後の生育を調査し、今後の栽培普及の資料とする。

1 調査内容

- (1) 栽培環境 露地ほ場
- (2) 供試品種 ホワイトソード（タキイ種苗）
- (3) 調査方法

定植前に、亜リン酸肥料『サンピプラス（OAT アグリオ）』1500倍液を底面かん水し、根から吸収させた苗を定植した調査区と、無施用の苗を定植した対照区について生育状況を調査

- (4) 耕種概要

- ①播種日：4月12日 264穴チェーンペーパーポット・1穴2粒播き
- ②定植日：5月30日
- ③栽植様式：畝幅120cm 株間2.5cm 栽植本数 33,333本/10a
- ④施肥量

区名	肥料名（N-P-K%）	施肥量（成分量 kg/10a）		
		窒素 N	リン酸 P	加里 K
共通	CDU たまご化成 S555（15-15-15）	5.2	5.2	5.2
	燐硝安加里 S646 追肥専用（16-4-16）	15.6	3.9	15.6
	計	20.8	9.1	20.8

※酸度矯正のため、粒状苦土石灰 M-10 を各区に 104.2kg/10a ずつ散布した。

- ⑤収穫日：10月23日

2 調査結果

各区ともそれぞれ10株について、定植1か月後の根重を含む生育状況を測定した結果は、表2に示すとおりである。草丈及び根長については差が見られなかったが、それ以外の茎径、全重、根重、乾燥根重とも、亜リン酸を施用した調査区が良かった。

表2 定植1か月後の生育状況（10株平均）

区名	草丈 (cm)	根長 (cm)	茎径 (mm)	全重 (g)	根重 (g)	乾燥根重 (g)
調査区	36.6	20.4	7.6	13.2	2.4	0.44
対照区	37.0	20.4	7.2	10.1	2.0	0.38

図1 草丈と根量の比較

【調査区】

【対照区】



【調査区】

【対照区】



3 まとめ

定植前に亜リン酸肥料を施用した調査区では、定植 1 か月後における根量や根重が対照区より大きく、初期生育を向上させる効果があることが示された。

次年度は、亜リン酸肥料の施用効果について、初期生育に加え、収量についても調査する。